

事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

事業の概要

事務事業名	給食センター管理事業				
主管課名	給食センター	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	小学校児童及び中学校生徒			
	意図	安心しておいしく食べられるような給食体制をつくるための施設の維持管理			
事業内容	平成22年度	給食を提供するために必要な人員の確保、施設の整備・運営			

事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	20,125				20,125
平成22年度	22,094				22,094

事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	給食年間実施数	195日	予算執行率	98%
平成22年度	給食年間実施数	197日	予算執行率	100%

評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	学校給食事業として安心安全な給食を提供するために施設の整備・運営を現状継続

事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

事業の概要

事務事業名	給食センター設備整備事業				
主管課名	給食センター	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	小学校児童及び中学校生徒			
	意図	安心しておいしく食べられるような給食体制をつくるための施設の維持管理			
事業内容	平成22年度	給食施設の整備			

事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	1,178				1,178
平成22年度	4,372				4,372

事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	執行額	1,178千円	予算執行率	100%
	給食年間実施数	195日		
			給食年間実施率	98%
平成22年度	執行額	2,161千円	予算執行率	99%
	給食年間実施数	195日		
			給食年間実施率	99%

評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	設備整備の年次計画に沿って、事業を展開していくこと

事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

事業の概要

事務事業名	給食センター管理事業(学校給食研究協議会負担金)				
主管課名	給食センター	事業主体	他	事業種別	他
目的	対象 (誰、何を)	学校給食研究協議会			
	意図	「食育」の推進及び学校給食の充実向上を図るために北海道の各学校給食センターのある市町村で配置している。			
事業内容	平成22年度	各研修会の開催及び関係官庁及び関係機関との連携及び陳情			

事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	10				10
平成22年度	10				10

事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活動実績	目的達成度
平成21年度		
平成22年度		

評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チェック項目		評点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	「食育」の推進及び学校給食の充実向上を図るため現状継続

事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

事業の概要

事務事業名	給食センター管理事業(市街地区学校給食特別会計補助事業)				
主管課名	給食センター	事業主体	他	事業種別	他
目的	対象 (誰、何を)	小学校児童及び中学生生徒			
	意図	北海道銀行から給食費を口座振替により支払っている者のみ振替手数料がかかることから、他の金融機関を利用する者との差をつくらないようにするため、振替手数料を補助する			
事業内容	平成22年度	振替手数料の補助			

事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	91				91
平成22年度	91				91

事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活動実績	目的達成度
平成21年度		
平成22年度		

評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チェック項目		評点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	納付の確実性や利用者の利便性を高めるため現状継続

事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

事業の概要

事務事業名	給食センター管理事業(学校給食物資補助金)				
主管課名	給食センター	事業主体	他	事業種別	補助・他
目的	対象 (誰、何を)	天売、焼尻小・中学校児童及び生徒			
	意図	離島地区の学校給食費が外の地域との差がでないよう一部を補助する			
事業内容	平成22年度	学校給食のパンと牛乳に係る費用の一部補助			

事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	449				449
平成22年度	431				431

事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活動実績	目的達成度
平成21年度		
平成22年度		

評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チェック項目		評点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	地域格差をなくし、公平な価格で給食を提供するため必要な事業であり、現状継続